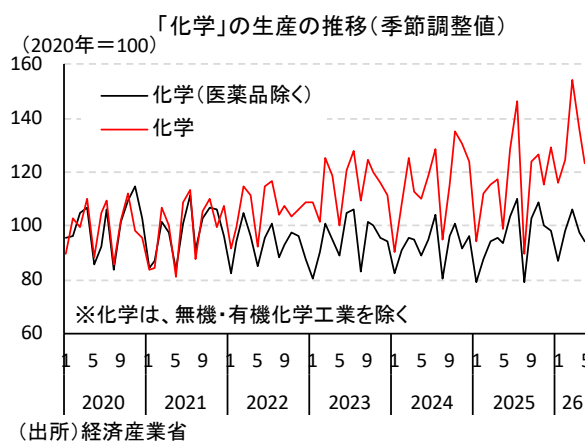
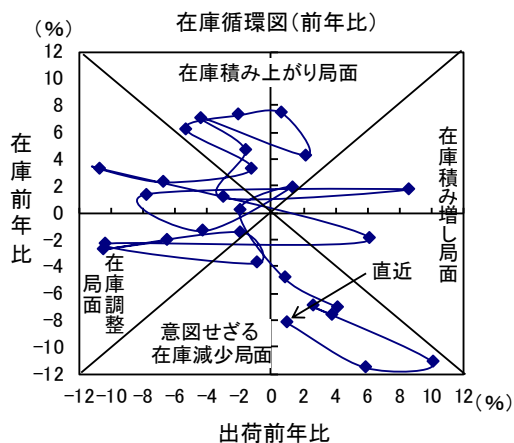
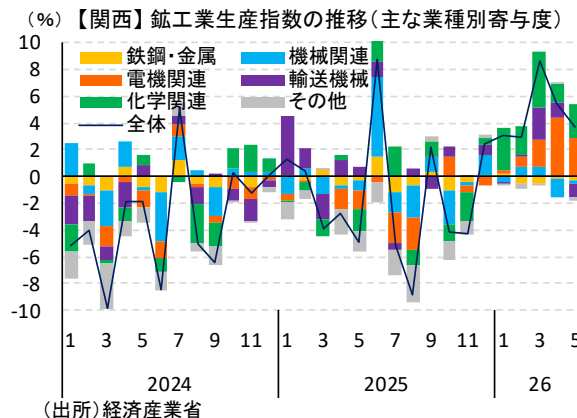
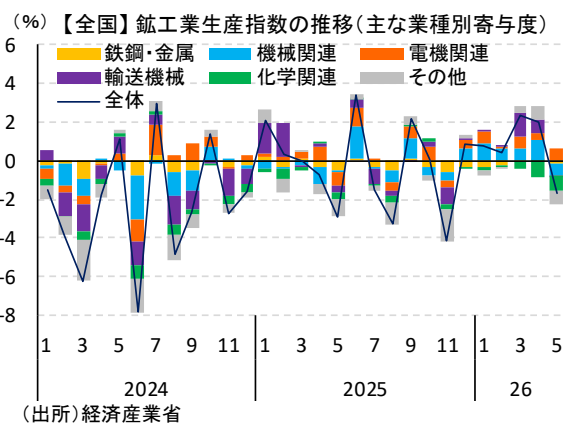


関西の景気トピックス【鉱工業指数（26 年 5 月）】

- 26 年 5 月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で 3.7%増と、6 か月連続の増加となった。業種別には、電池や通信機器などを中心とした電機関連のほか、前月に続いて化学関連が伸び、全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月と同様に、「需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する」意図せざる在庫減少局面となっている。しばらくこの局面が続いている中、来月以降の動向が注目される。
- 足元で好調な化学については、医薬品の増加が主因のようである。全体的に増加品目にやや偏りがみられるとはいえ、生産の増加傾向が続いている点は、関西にとって明るい材料といえよう。ただし、中東情勢の混乱による影響については楽観できず、今後の推移が引き続き注目されよう。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。